

久美浜保育所参観の報告

いまさらですが、昨年(2024年)の12月9日、久美浜保育所の参観に行きました。生活科の研究の中で、幼児教育との連携が課題である中、小学校での関わり方や環境を活かせるところを探すためです。普段は大勢の先生に参観されて、やや緊張する子たちもいますが、1人ということもあり、話しかけてくる子もいるくらい、普段通りの様子を見せてくれました。(あの時はインフルエンザで保育所も本校も休みは多かったですが…)

朝のコマ

時間にゆとりがあり教科準備がないので、担任は教室の外の様子を見に行くことも。自分のイスをすぐ出す子より、友達のイスも出して、更にそろえる子をほめていました。

ホールには違う月齢の子ども達もいます。先日の発表会を観て、下の子がまねることができるよう竹馬やサーキットは置いたままをしているそうです。

廊下には小道具も。もし壊したらと思いますが、子ども達のいる場所には必ず教師かサポーターがいます。だからこそ自由にさせられる環境なのでしょう。



廊下を通るたびに、いい意味で教員やサポーターがよくおしゃべりをするな、という印象でした。兄弟の様子、さっきまでしていた遊びであったことを「あんなあ〜…」と自然に情報共有していました。

年中、年長の部屋はイスを廊下に置き、机も端に寄せていました。部屋を最大限広くして活動できる環境は、学校でも使えそうですね。

お休みが多くてできませんでしたが、

この日は紙の棒を使った形づくりの活動を予定していました。やってみると四角、三角、中にはたくさん組み合わせでハートにする子もいるそうです。小学校では算数のマッチ棒をならべて図形にする活動に似ていて、そんな教科との関連がありそうでした。保育所での経験が小学校での学習への芽生えとして出ているところがあるのでしょうか。11月でする生活科の単元も、保育所で似た活動をしているのかもしれないね。

黒板には1日スケジュールが書かれていました。

- 1 あさのかい
- 2 いろんなかたちをつかってあそぼう
- 3 きゅうしょく
- 4 はみがき、おそうじ

…というかんじでした。小学校でも見通しを持たせるように、保育所でも朝の会でたしかめていました。ただ45分で時間を区切っていない分、子どもにやりたいただけさせられるのは魅力です。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の研修会します！！

1年グループ研で話題になり、指導主事の先生講義でも話になった10の姿。幼児教育には欠かせない視点で、生活科の指導案でも表記する10の姿は、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」で示された幼児教育のあり方に関するきわめて重要なポイントで、保育を行う上でのねらいと内容を5つに分類した「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の領域での10の具体だそうです。その内容について**6月19日(木) 16:00~からかぶと山子ども園におられた教下先生から研修を受けることができるようになります。**1年グループからの動きですが、2年グループの先生方も時間があれば、ぜひご参加ください。